

6 指標と数値目標

分野アウトカム(目指す姿)-(A)

No.	項目名	指標名	現状値	目標値 (2029年)
(1)	常時、症状に応じた適切な小児医療を受けることができる。	小児救急搬送症例の受入困難事例の割合(現場滞在時間 30 分以上)	4.2% (2021年)	前年より減少
		乳児死亡率	1.3% (2022年)	
		幼児、小児死亡数	43人 (2022年)	
		小児医療に対する満足度	—	

中間アウトカム(分野アウトカム達成に必要な状態)-(B)

No.	項目名	指標名	現状値	目標値 (2029年・年度)
(1)	子どもの健康を守るために、家族等を支援する体制の構築	とちぎ子ども救急電話相談(#8000)の相談件数	24,220件 (2022年度)	前年度より増加
		とちぎ子ども救急電話相談(#8000)の満足度	—	
		救命救急センターにおける小児救急患者の入院率	17.1% (2022年度)	
(2)	地域において日常的な小児医療を受けることができる体制の構築	小児科医師の相対的医師少数区域に該当する小児医療圏の数	1医療圏 (2023年度公表)	0医療圏
		小児患者の時間外外来受診回数	38,783件 (2021年)	
(3)	症状に応じた専門的医療を受けることができる体制の構築	小児救急搬送症例の受入困難事例の割合(再掲)	4.2% (2021年)	前年より減少
		小児科医師偏在指標	109.2 (全国値:115.1) (2023年度公表)	全国値以上
		小児救急入院患者数	3,352人 (2022年)	
(4)	療養・療育支援が可能な体制の構築	小児の訪問看護利用者数(1か月当たり)	287人 (2021年度)	前年度より増加
		小児の訪問診療受診者数(1か月当たり)	26人 (2021年度)	前年度より増加

施策-(C)

No.	項目名	指標名	現状値
①	とちぎ子ども救急電話相談(＃8000)の実施、普及啓発	とちぎ子ども救急電話相談に係る普及啓発資料の作成部数	15,000部 (2023年度)
②	こども救急ガイドブックの作成、とちぎ医療情報ネット等による一次診療医療機関の周知	こども救急ガイドブックの作成部数	30,000部 (2023年度)
③	地域における病院や診療所による小児医療提供体制の整備(医師確保支援事業、小児医療施設設備整備事業)	小児科を標榜する病院数	35か所 (2020年)
		小児科を標榜する診療所数	39か所 (2020年)
④	初期救急医療体制の充実(小児休日夜間急患センター等運営事業)	小児休日夜間急患センター数	11か所 (2023年4月)
⑤	入院を要する小児救急医療提供体制の充実(小児救急医療支援事業、小児医療施設設備整備事業、小児救急搬送困難事案の検証)	小児救急医療支援事業により輪番制に参加している病院数	12か所 (2023年4月)
⑥	重篤な小児患者に対して高度な医療が提供できる体制整備(とちぎ子ども医療センター事業)	PICU 病床数	8床 (2023年4月)
⑦	小児科医師の確保に向けた取組(医師確保支援事業、医師の働き方改革の影響調査)	小児科医師数	263人 (2020年)
⑧	医療的ケア児の療養・療育に係るサポート体制の充実	小児の訪問看護を実施している訪問看護ステーション数	—
		小児の訪問診療を実施している病院・診療所数	—
⑨	地域の病院・診療所と緊急手術や入院等を行う専門的な医療機関との連携促進	在宅医療を担う医療機関と入院医療機関が共同して在宅での療養上必要な説明及び指導を行っている医療機関数	—
		退院支援を受けたNICU・GCU入院児数	—